

チャペル週報

No.16

2024.9.30～10.4

イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから、
座っている人々に分け与えられた。

ヨハネによる福音書 6章11節



吉岡記念館（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時 間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場 所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

9月30日(月)	神 人 建	前川 裕(理学部宗教主事) 創立記念日を覚えて① 嶺重 淑(宗教主事) Christian Triebel(宣教師、学長直属助教)
10月1日(火)	神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教	八代 智(八代学院 理事長) Andreas Rusterholz(宗教主事) コミュニケーション「伝える」ということ① Timothy O. Benedict(宣教師、社会学部准教授) Janette McIntosh(宣教師、国際学部教授) 秋の献血週間を覚えて 献血実行委員会 水野 敬三(商学部教授) 平林 孝裕(宗教主事) 前川 裕(宗教主事) 宗前 清貞(総合政策学部教授) 献血実行委員会
10月2日(水)	神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教	Mission in Dialogue 報告 村田 奈璃(神学部3年)、嶋野 陽菜(神学部4年) コミュニケーション「伝える」ということ② 打樋 啓史(宗教主事) Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授) 松隈 協(高等部宗教主事) 創立記念日を覚えて② 嶺重 淑(宗教主事) 平林 孝裕(宗教主事) 前川 裕(宗教主事) 井上 智(宗教センター宗教主事)
10月3日(木)	神 文 社 法 経 商 人 国 総 短大	臨床牧会実習報告 全 容佑(神学研究科 M2年) Andreas Rusterholz(宗教主事) コミュニケーション「伝える」ということ③ 井上 智(宗教センター宗教主事) グローバル化・SDGs推進担当課職員 能登半島地震ボランティア報告② ヒューマン・サービス支援室 木原 桂二(宗教主事) 献血実行委員会 Chapel in English 長谷 尚弥(国際学部教授) 佐山 浩(総合政策学部教授) 能登ボランティア、広島平和学習報告チャペル(学生有志)
10月4日(金)	神 文 経 理・工・生環	「共に生きる」② 芦名 定道(神学部教授) Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事) 世界アルツハイマーデー(9/21)を覚えて 舟木 譲(宗教主事) 高木 政臣(日本キリスト教団 神戸北教会担任教師)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

10月4日(金) 被造物の季節(Season for Creation)を覚えて Janette McIntosh(宣教師、国際学部教授)

Zoom でのご参加希望の教職員・学生等の方は、QRコードを読み込みお申込みください。



食事をめぐる断想——世界聖餐日に寄せて

前川 裕

食事の場面（食べ物そのものではなく）に対する価値観はひとつではない。昭和の時代、学校でも家庭でも、食事の時には黙って食べるように言われていた。これは喉に詰まったりすることを防ぐためであろう。現代では食事は和気あいあいと楽しむもの、となっている。食事には会話が欠かせない、という話題は新型コロナウイルス蔓延期にも取り上げられた。

「ぼっち飯」という言葉がある。主に大学生のスラングで、大学の食堂などでひとりで食事をしていることを指す。当初は「寂しい奴」というマイナスイメージであった。しかし「一人であることを積極的に求める」という趣旨で肯定的にも用いられるようになってきているという。これも価値観の変遷の一例である。

イスラーム信徒のインタビュー記事を読んだことがある。イスラームには断食月（ラマダーン）の定めがあり、その1ヶ月間、原則として日中は何も食べない（その分、夜には十分食べる）。たいそう苦しいでしょう、と言うインタビュアーに対し、信徒は「たしかに苦しい。でも、この苦しみを全世界にいるイスラームの仲間たちと分け合っていることを感じる」という趣旨で答えていた。断食することが却って信徒同士の連帯につながるというのは興味深い。

旧約聖書にも食物規定がある（レビ記11章）。食べてはいけないものを定めることは制約である。しかしその制約を共有することが、逆に信徒同士の紐帯を強めることにつながる。内部的なルールを共有することで、仲間意識を強めるのである。日本には「同じ釜の飯を食う」という諺がある。これは「同じ釜」という制約を与えることで、仲間であるという認識を強化していることになるだろう。

キリスト教会には「聖餐」という儀式がある。イエスが弟子たちとの最後の食事の際に、パンとぶどう酒に対して特別な意味づけを与えたい。のちのキリスト教会は、イエスの記念として聖餐の儀式を行い続けた。これはキリスト教のアイデンティティの一つである。

現在、世界の多くの教会で、10月の第一日曜を「世界聖餐日」と呼んでいる。この日の聖餐式を通じて、世界中の信徒同士の連帯を感じるひとときでもある。「食べること」を通じたつながりは、古今東西を問わず変わらないものであるようだ。

（理学部宗教主事、工学部・生命環境学部宗教主事兼務）

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

関西学院の基盤となるキリスト教の言葉やシンボル、関西学院の精神について語るメッセージビデオです。キリスト教主義教育のエッセンスに触れるとともに、皆さまの心の糧としてご視聴ください。(月 2 回程度更新されます)



<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazenimou>「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14 階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1 回チャペルアワーを実施しています。場所は1405 教室です。どなたでもご自由にご参加ください。

10 月10 日(木)17:50~18:10 打樋 啓史(宗教総主事)

●タベの祈り—テゼの歌とともに

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら皆でこころ静かに過ごす、タの祈りのひととき。どなたもぜひご参加ください。

日 時：10 月15 日(火)18:50~19:40

場 所：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催：宗教センター

●2024 年度 第1 回教育研究部サロン

「私にとっての Mastery for Service—教育の現場から考える」

今回の教育研究部サロンでは、「私にとっての Mastery for Service」と題して、関西学院の学校からお二人の先生をお招きし、「Mastery for Service」をどのように生徒たちに伝えておられるのかをお話しいただき、参加者の皆さんと共に「私にとっての Mastery for Service」を考えてみたいと思います。

お 話：宗實 直樹(初等部教諭)、田中 章雅(高等部教諭)

司 会：細見 和志(総合政策学部教授)

日 時：10 月8 日(火)17:10~18:50

会 場：本部棟会議室6(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催：関西学院宗教活動委員会

※対象は関西学院教職員・学生です。

※対面で実施しますがZoom参加も可能です。以下 URL もしくは QR コードからご参加ください。

<https://kwansei-gakuin.zoom.us/j/83849486859?pwd=bGDaQ0Wenoi5pFrktKJw5iDFvPIihr.I>



●秋の献血週間のお知らせ

以下のとおり、秋の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆さまのご協力をお願いします。

日 時：NUC・・・10 月2 日(水)、3 日(木)、4 日(金)10:30~11:20/12:40~17:00

KSC・・・10 月23 日(水)、25 日(金)10:30~11:20/12:40~17:00

場 所：NUC・・・吉岡記念館ラウンジ、中央芝生横 KSC・・・体育館横

主 催：宗教総部献血実行委員会

●関西学院チャペルオルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たちが練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、ランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もどうぞお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。(入場料無料、申込不要)

日 時：10 月12 日(土)13:00~

場 所：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4 日曜日(原則)の10:00~11:00 に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

10 月13 日(日)10:00~11:00

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

関西学院最大のクリスマスページェントを大阪のザ・シンフォニーホールで開催いたします。

日 時：2024 年12 月19 日(木)17:30 開場 18:30 開始 21:00 終了予定

場 所：ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南 2-3-3)

内 容：第1 部・・・音楽で綴る降誕物語とクリスマスメッセージ

第2 部・・・学院の音楽団体によるクリスマスコンサート

参 加 費：2,500 円 全席指定席 ※9 月20 日(金)チケット販売開始

参加費は運営費を除いた全額を宗教活動委員会を通して関係団体・施設等に献金いたします。